

研究課題 評価結果概要一覧

番号	課題名	研究主体	研究期間	総事業費	課題の概要	実績に関する所見	今後検討を要する事項に関する所見	総括評価
1	アグリバイオ研究のうち種 苗開発を支える「スマート育 種システム」の開発	民間団体等	平成30年度 ～ 令和4年度	11.9億円	我が国の農業競争力を向上させるためには、産学官が連携した種子・種苗の開発・供給体制の構築が重要となってきている。また、バイオテクノロジーの発展により、農作物のゲノム情報等の育種に関するデータが蓄積され、これを用いた新たな育種技術が登場している。民間事業者等による良質かつ低廉な種苗の開発を拡大・加速するため、①作物のゲノム情報等のオミクスデータ、形質評価データ、栽培環境データ等の「育種ビッグデータ」の収集・整備、②ゲノミックセレクション等の育種基盤技術の開発・高度化を行い、民間事業者等への提供体制を構築する。	・国際的に品種開発競争が激しくなっている中で、育種に関するデータの蓄積・活用によって効率的かつ迅速に品種開発を行うことができる育種システムの開発は、農林水産業・食品産業の発展に大きく寄与する重要な研究である。 ・ビッグデータのデータベース開発や、有用遺伝子カタログ作成の進捗が非常に進んでおり、アウトプット目標の達成の道筋が明確で、達成は十分可能である。 ・アウトカムに繋がる道筋も明確で、学会発表等も積極的になされており、普及を担う関係者へのインプットの面でも、非常に評価できる成果になっている。	・他の育種プロジェクトとの連携や他品目への展開など、本研究成果の発展を期待したい。 ・アウトカム目標については、より具体的な表現となっていることが重要であるため、その点を踏まえて、研究成果の普及に取り組んでいただきたい。	A

※総括評価は、以下の4段階で評価。
S: 予想以上の成果を上げた。
A: 概ね目的を達成した。
B: 目的の達成がやや不十分であった。
C: 目的の達成が不十分であった。